

7月25日(火)

天の光

聖書朗読 ヨハネ 8:12~20

もし私たちが、神が光の中におられるように、光の中を歩んでいるなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。

Iヨハネ 1:7

今日の聖書箇所は、私たちは光の源、イエス様を見ます。でも、パリサイ人のように、見えなかった人もいました。彼らが誠実に質問したなら、イエス様は違ったふうにお答えになったかもしれません。パリサイ人は人を欺きイエス様を告発しました。無論、イエス様の証しは真実です。しかし、彼らはそう考えませんでした。イエス様の答えは、イエス様の証しが御父に対してだけでなく、ご自身に対しても、真実であることを示しています。

彼らはイエス様に「あなたの父はどこにいますか」と訊きました。彼らには神様がどのようなお方であるか、彼らに話しておられる方が誰なのかなど、何もわかっていませんでした。知りたくもなかったのかもしれませんが、彼らがやる気になっているように見えるのは、主の評判を落とすことだけでした。

救い主が語られる時、私たちは本当に聴きたいと思っていますか。それとも、私たちの検討課題は、主の知恵をいただくことより、利己的なものになっていませんか。今日、光と真実の源を探し求めましょう。

讃美歌 こどもさんびか 52

祈り お父様、私が聞きたくないと思っている時でも、あなたの御言葉に耳を傾けられるように助けてください。あなたの方法が最善であると信頼することを学べますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ブライス
スティーブン・クラーク・ゴード

7月26日(水)

光の方へ

聖書朗読 ヨハネ 9:11~41

わたしは世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちのひかりを持つのです。

ヨハネ 8:12

暗闇で進むのは難しいです。伝道者を務めていた年月の間、暗い教会堂を歩いたのを覚えています。電気を点けたり懐中電灯を使ったりすることのほかに、私が学習したのは、部屋の向こう端の明かりの方へ歩けばよいということでした。暗闇は人生を困難にします。私たちには人生の目的となる光が必要です。

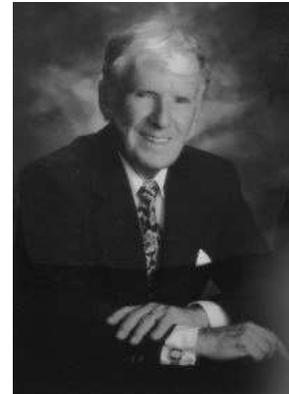
私たちは、比喩的に闇と称されるものによく驚かされます。いじめ、裏切り、惨事や混乱は、私たちを闇に陥れます。ちょうど私が真っ暗な教会堂の後方の明かりを探し求めたように、いのちの光であるイエス様を求めることによって、私たちは人生の暗い経験を通り抜けます。他の人々に暗い時代をいかに生きるかを伝えることは、光を広めることです。光の方へ歩きましょう。

イエス様が生まれたときから目の見えない人を癒された時、まだ目の見えない人に対して、シロアムの池に手探りで行って、そこで目を洗うようにと言われました。彼が行って洗うと、光があふれ出しました。何に向かっているのか、あるいはなぜそうしているのかを知る必要はありません。キリストが導いてくださっているだけで十分です。

神様の時機(とき)に光輝く。 —シャーウッド・ウィルト

讃美歌 533

祈り 神様、あまりにも大勢の人が闇の中に生きています。イエス様の光が、もっと多くの場所で、もっと多くの人々のために輝きますように。親のない子どもたちや難民の方々がいのちの光を見られますように。病気の人や元気のない人たちが、イエス様にお頼りすることができますように。隣人が私を通してイエス様の光を見ることができますように。いつも光の方へ歩ませてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



Sherwood E. Wirt (1911-2008)
牧師・作家・編集者、ビリー・グラハム
と共に働いた。

オクラホマ州 エドモンド
ハロルド・シャンク

7月28日(金)

闇が支配する時

7月27日(木)

救いが不可能に思える時

聖書朗読 ヨハネ 11:1~44

また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。このことを信じますか。

ヨハネ 11:26

私は、色々な機械や装置の音が鳴り響くICU(集中治療室)に座って、全身麻痺で昏睡状態にある夫を見ました。たとえ命が助かったとしても、再び彼の声を聞けるようになるまでには何か月もかかるでしょう。それでも、神様がともにいてくださったので、私は落ち着いて喜びにあふれていました。これから私たちがどうなるかはわかりませんが、夫と私はイエス様が引いてくださっている舟のようなものだという事は知っていました。夫が病に倒れるずっと前に、主は「わたしは決してあなたを見放さず、あなたを見捨てない」と約束してくださいました。

私たちは信仰上の非常に困難な瞬間に直面していました。聖書に登場する多くの人物も困難な時に立ち向かったのだと思うと慰められました。私たちの場合のように、神様はまずははっきりとしたお約束を、場合によっては明確なご命令をお与えになりました。しかし、いつか事態は不可能に思えるようになります。神様の約束は必ず成就する、神様の掟は守られるということ信じられないような時が繰り返されます。

聖書の中で不可能だと思えた話を思い出してみてください。アブラハムとサラは子を産むには年老いていました。イスラエルの子らを追跡するエジプト王ファラオの軍勢は強大でした。エリコの町の城壁は堅固でした。ダビデと一騎打ちしたゴリヤテは約3mもある大男でした。3人の少年たちを投げ込むように命じたバビロン王ネブカドネツアルの炉は普通より7倍熱くなっていました。神様だけが、私たちには“不可能”と思える状況に解決をもたらすことができになります。

聖歌 458

祈り 主よ、“可能”かどうかという論議において、イエス様の復活こそ、もっともあり得ないことです。イエス様を死者の中からよみがえらされたなら、あなたにおできにならないことは何もありません。あなたはどんな“不可能”な状況をも解決してくださること、どのような状況にあってもいつも私にとって最善をなしてくださることを信じます。イエス様のお名前によって。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ
ラティン・C・スコット

聖書朗読 ヨハネ 13:18~30

あなたは、わたしが毎日宮でいっしょにいる間は、わたしに手出しもしなかった。しかし、今はあなたがたの時です。暗闇の力です。

ルカ 22:53

今日の聖書朗読箇所は、「時は夜であった。」という、一見、何気ない観察の報告で終わっています。本来は、過越の祭りの前の聖なる夜のはずでした。家族や友人が集まって、種なしパンを割り、人生における神様の恵みを祝う時でした。そういう類(たぐい)の夜でした。ところが、一変しました。ユダが銀貨30枚でイエス様を引き渡す、と祭司長たちと話を付けていました。(マタイ 26:15) 肯定的な前向きな思い出どころか、裏切りの夜になってしまいました。サタンが、一人の貪欲な男の人生に入り、致命的な結果をもたらす夜となったのです。イエス様でさえ「心が騒いだ」(21節) 夜でした。イエス様はその夜を「暗闇の力」の時と言われました。

でも、暗闇の力は長くは続きません。イエス様は弟子たちが悲しむだろうと知っていましたが、彼らの「悲しみは喜びに変わる」(ヨハネ 16:20) と、そして「わたしは再びあなたがたに会います。そして、あなたがたの心は喜びに満たされます。その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。」(ヨハネ 16:22) とはっきりおっしゃいました。神様は私たちが過ごす暗黒の夜をご存じです。いつの日か暗闇の支配は終わり、喜びが我らのものとなるでしょう。

聖歌 276

祈り 恵み深い愛なる主よ、あなたの光が暗闇を照らしてくださることを感謝します。私たちの人生を闇から光へと変えてくださり、あなたの大きな御力によって、私たちがサタンの力から解き放ってください、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 オースティン
ロン・ガズマン

7月29日(土)

主は私たちのために場所を用意された

聖書朗読 ヨハネ 14:1~4

わたしの父の家には住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたのために言うておいたでしょう。あなたがたのために場所を備えに行くのです。

ヨハネ 14:2

この間、私は家族と一緒に、年に1度のクリスマス後のスキー旅行を楽しみました。一面雪に覆われた山頂からの眺望ほど美しい世界はありません。山々をいくら眺めていても立ち去りがたい思いです。皆でヘラジカが草を食(は)んでいるのを見たり、リフトに乗って話したり、山下りの滑降をしました。キャビンの近くにある池でカモに餌をやりました。一緒に食べて、笑って、遊びました。人生や美しいもの、喜びは、皆で分かち合った方が良いでしょう。

私たちが皆でいる時に、家族の誰かが「もう行かなきゃならない時が迫ってきたよ。来年、皆で集まった時に、僕のことを思い出してくれたら嬉しいな。」と言ったとしたらどうでしょう。イエス様が「まだ、しばらくの間、わたしはあなたがたといっしょにいて、それから、わたしを遣わした方のもとに行きます。あなたがたはわたしを捜すが、見つからないでしょう。また、わたしがいる所に、あなたがたは来ることができません。」(ヨハネ7:33~34)と言われるのを聞くのは、弟子たちにとってどんなにつらかったことでしょうか。

弟子たちは悲しみ、戸惑い、途方に暮れました。すると、イエス様は(私の解釈では)こう言われました。「心配しないで。信用していいよ。父なる神様も信用できるし。父なる神様の家は大きくて部屋がたくさんあるんだ。みんなのために場所を用意しに行って、みんなを迎えに戻って来るよ。そうしたら、ずっと永遠に一緒にいられるよ。」

讃美歌 461

祈り 主よ、あなたがいらっしゃるところならどこでも、私たちも行きたいです。あなたを信頼し、あなたのお約束を信じます。永遠にあなたとともにいられるように、私たちのために場所を用意して下さったあなたをほめたたえます。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ミュールシュエー
カーティス・K・シェルバーン

7月30日(日)

神様の栄光の御力によって

聖書朗読 ヨハネ 15:1~8

わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

ヨハネ 15:5

私は電気技師と結婚して60年以上になります。結婚して最初の2年間、夫には全く無縁の概念の研究に長時間費やしていました。私はたとえば、形容詞と副詞の違いを説明するのが得意で、懸垂分詞や分離不定詞を避けるにはどうしたらよいか等はよく知っていましたが、電気となると、まごつくどころか怖いとすら感じました。

そういう訳で、何か電気関係のことで不具合があった時には、一家のあるじに頼ったのは当然でした。私がどんなに動かそうとしても、どうにもならなかったものを、夫はあっという間に直すことができました。でも、結婚したての頃、明かりを点けられなかった時のことを決して忘れないでしょう。我が家のエンジニアさんは、まず手始めに電球を交換してから、私にはさっぱりわからないけれども、電灯内部の仕組みをあれこれ調整しました。しかし、電気は点きません。とうとう、最新技術を全て使い尽くしてしまった後で、駆け出しのエンジニアさんは、ある大変初歩的なことに気がきました。電気はプラグに差し込まなければならないのです。

今日の聖書箇所を読むと必ず新婚時代にやらかしたばかなことを思い出します。正しい電源に繋がっていないければ、光を放つように設計されているどんな物も点灯しません。私にとっての電源はイエス様です。

聖歌 425

祈り 神様、実を結ぶためには、イエス様にとどまっていなければならないことを覚えさせてください。イエス様こそあらゆる力の源です。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

テキサス州 ラボック
ケイ・バーナム・エヴァンズ

